資料５３－２

「国際電気通信連合無線通信総会への対処について」
答申概要

Ｉ ＴＵ－Ｒ部会の審議事項

「国際電気通信連合（ITU）無線通信総会（RA）への対処について」

（平成６年１月２４日付け電気通信技術審議会諮問第１号）

国際電気通信連合無線通信部門（ITU－R）無線通信総会（RA）への対処として

（１）RAに提出される勧告案等に対する評価

（２）RAの研究課題の望ましい作業計画

について答申する。

RA−07概要

- 開催日、場所：2007年10月15日～19日、スイス国ジュネーブ
- 参加資格：主管庁（191加盟国）及び無線通信部門セクターメンバー（282メンバー）
- 主な議題：
  ①SG会合から提出された勧告案等の承認
  ②2008年以降の次研究会期における研究体制の決定
  ③次研究会期における研究課題の承認

ＲＡ－０７での主な論点

Ⅰ．勧告案等の承認

・PLT（電力線通信）より漏えいする電磁波からの短波放送の保護の条件に関する勧告案

・IMT-2000の無線インタフェースにWiMAXを追加する勧告案

・IMT-Advancedの標準化のプロセスに関する決議案　　　　等

Ⅱ．次研究会期の体制

・ITU-Rでは、これまで各SGの専門性を活かし、無線分野の標準を多数策定。

・一方、近年、ＢＷＡのように、従来の固定業務と移動業務が融合した形で用いられるような無線システムが出現。既存のＳＧ区分に基づいた研究方法では非効率的との指摘。

・専門家が複数の会合に出席する必要があり、参加者が負担を感じている。

・これまでの研究成果を踏まえ、最新の技術動向を取り入れつつ、一層効率的に研究に取り組む必要。

・適切なSGに多くの専門家が集まり、活発な議論が行われる環境の構築が重要。

Ⅲ．次研究会期における研究課題

・IMT-2000及びその後継システム（IMT-Advanced）についての研究

・放送業務等に使用する超高細度画像の規格についての研究　　　等

Ⅰ．ＲＡ－０７で承認が求められる勧告案等

	文書	勧告・決議名	関連SG／WP／課題	種別
勧告案	SF.[4-9S/HAPS-PLIMIT]	47.2-47.5GHz及び47.9-48.2GHz帯において宇宙局受信機との周波数共用を促進するためのHAPS利用者端末の電力決定手法	SG4, SG9/WP4-9S/ Q.251/4, Q.218/9	新規
	S.1587-1	FSSに割り当てられている、5925-6425 MHz および14-14.5 GHzにおける、FSS衛星を用いた船上地球局の技術特性について	SG4/WP4A Q.254/4	改訂
	Doc. 6/229 rev.1	PLTシステムからの影響に対する80MHz以下のLF, MF, HFおよびVHF帯の放送システムの保護要求	SG6/WP6E Q.32/6	新規
	RS.516-1	地球観測および気象衛星の能動センサと、無線評定業務との共用	SG7/WP7C/Q.140/7	削除
	SA.1071	宇宙科学業務と固定衛星業務による13.75-14.0GHz帯の利用	SG7/WP7B/ 決議112（WRC92）	削除
	SA.1156	低軌道衛星の可視統計計算手法	SG7/WP7B	削除
	M.1036-2	806-960MHz、1710-2025MHz、2110-2200MHz、2500-2690MHzにおけるIMT-2000の陸上移動業務に関する周波数配列	SG8/WP8F/ Q229/8	改訂
	M.[8B.GBAS]	87-108MHz帯におけるFM音声放送と108-117.975MHz帯におけるGBASの両立性	SG8/WP8B/ 決議413（WRC03）	新規
	M.1457-6	IMT-2000の無線インタフェースに関する詳細仕様	SG8/WP8F	改訂
	M.1580-1	IMT-2000の基地局の不要輻射基準	SG8/WP8F/Q229-1/8	改訂
	M.1581-1	IMT-2000の移動局の不要輻射基準	SG8/WP8F/Q229-1/8	改訂
決議案	M.[IMT.NAME]	IMTの名称	SG8/WP8F/Q229-1/8	新規
	M.[IMT.PRINCIPLES]	IMT-Advancedにおける開発プロセスの原則	SG8/WP8F/Q229-1/8	新規

対処方針

- RAにおいて審議される勧告案等は、我が国としてもこれまでSGでの検討に参加し、策定に貢献した成果。我が国の意見が取り入れられているものを中心に基本的に支持。役割を終えたものについては、削除を支持。
- ただし、PLTシステム及びIMT-2000に関する勧告案については、各国の見解や解決すべき技術課題を十分考慮し、状況に応じて修正・支持等の対処をする。

Ⅱ．次研究会期の研究体制について

最新の技術動向を考慮し、多くの専門家が参加しやすい構成を検討。非公式会合を通じて各国の意見を集約し、以下の案を中心に議論が進められる予定。

現行

- SG1　周波数計画、利用、技術、分配及び監視
- SG3　電波伝搬
- SG7　科学業務
- SG6　放送業務（地上放送、衛星放送）　副議長　熊田氏（NHK）
- SG4　固定衛星業務　副議長　阿部氏（KDDI）
- SG8　移動業務、無線測位業務、アマチュア業務及び関連する衛星業務　副議長　水池氏（KDDI）
- SG9　固定業務　副議長　橋本氏（NTTドコモ）

・最新の技術動向に応じた構成が必要
・技術進展等により既存の区分では活動が非効率

案

- SG1（SGA）　周波数計画、利用、技術、分配及び監視
- SG3（SGB）　電波伝搬
- SG7（SGE）　科学業務
- SG6（SGF）　放送業務（地上放送）

再編

- Study Group C（地上系）
  移動業務、固定業務、アマチュア業務、無線測位業務
- Study Group D（衛星系）
  移動衛星業務、測位衛星業務、放送衛星業務、固定衛星業務

＊作業量の分散のため、アマチュアや海上、レーダー等を扱う新SGを設置する議論もあり

対処方針

活動の効率性・技術動向への対応の観点から適当な構成と考えられるため、支持する。

Ⅲ．次研究会期の主な研究課題例

電波伝搬関連	近距離無線アクセスや無線LAN通信などの近距離通信システム設計のために適切な伝搬モデルの構築や、室内の障害物の電波伝搬への影響等を研究する。（研究課題 211-4/3）
地上放送関連	放送及びコンピュータグラフィックスや医療等の業務に使用する超高細度画像（EHRI: Extremely High Resolution Imaging）のアスペクト比や画像処理等の規格について研究する。 （研究課題 40-6 ）
地上通信関連	１． IMT-2000の高度化に関する技術・運用上の課題、IMT-2000の後継システムに関する要求条件、アプリケーション、端末のグローバルサーキュレーション等について研究する。（研究課題229/8） ２． 広帯域無線アクセスシステムの技術及び運用要求条件、特性について研究する。（研究課題238/8, 236/9）

対処方針

無線システムの発展・周波数利用効率向上の観点から適当な課題と考えられるため、支持する。

（参考）ＩＴＵ－Ｒの構成

全権委員会議ＰＰ
最高意思決定機関
（4年毎に開催）

世界無線通信会議
ＷＲＣ
無線通信規則の改正等

地域無線通信会議
ＲＲＣ
地域における無線通信に関する協定等の協議

会議準備会合
ＣＰＭ
ＷＲＣの準備

無線通信総会　ＲＡ
研究課題設定、勧告の承認等
（3～4年毎に開催）

研究委員会　ＳＧ

ＳＧ１　周波数計画、利用、技術、分配及び監視
効率的な周波数管理の原則及び技術の開発、分配基準・方法、周波数監視技術、周波数利用の長期戦略等に関する研究

ＳＧ３　電波伝搬
無線通信システムの向上を目的とした、電離媒質及び非電離媒質中における電波伝搬並びに電波雑音特性に関する研究

ＳＧ４　固定衛星業務
固定衛星業務に関する軌道/スペクトラムの有効活用、システム等に関する研究

ＳＧ６　放送業務
一般大衆に向けて配信することを目的とし、映像、音声、マルチメディア及びデータサービスを含む無線通信による放送（地上及び衛星）に関する研究

ＳＧ７　科学業務
時刻信号及び標準周波数報時、宇宙無線システム、地球探査衛星システム及び気象に関する事項、電波天文業務等に関する研究

ＳＧ８　移動業務、無線測位業務、アマチュア業務及び関連する衛星業務
移動業務、無線測位業務、アマチュア業務及び関連する衛星業務のシステムとネットワークに関する研究

ＳＧ９　固定業務
地上局により運用している固定業務のシステムとネットワークに関する研究

ＲＡＧ　無線通信アドバイザリグループ
ＩＴＵ－Ｒの作業の優先順位及び戦略等の見直し、作業計画の進捗状況の評価

（参考）ＩＴＵ－Ｒへの対応のための国内審議体制

平成19年9月19日現在

- 情報通信審議会（会長：庄山　悦彦　（株）日立製作所会長）
  - 情報通信技術分科会（分科会長：土居　範久　中央大学　理工学部　教授）
    - ITU－R部会（部会長：根元　義章　東北大学大学院教授）
      - スペクトラム管理委員会（担当：SG1）（主査：小川　博世　（独）情報通信研究機構センター長）
      - 電波伝搬委員会（担当：SG3）（主査：佐藤　明雄　東京工科大学教授）
      - 固定衛星業務委員会（担当：SG4 ）（主査：加藤　寧　東北大学大学院教授）
        - 固定衛星ワーキンググループ
      - 放送業務委員会（担当：SG6 ）（主査：伊東　晋　東京理科大学教授）
        - ワーキンググループ
        - 2.5GHz帯共用検討ワーキンググループ※
      - 科学業務委員会（担当：SG7 ）（主査：飯田　尚志　（独）情報通信研究機構研究高級研究員）
        - 時間周波数ワーキンググループ
      - 移動業務委員会（担当：SG8 ）（主査：高畑　文雄　早稲田大学教授）
        - 陸上移動ワーキンググループ
        - 航空海上移動ワーキンググループ
        - 移動衛星ワーキンググループ
        - IMTワーキンググループ
        - 2.5GHz帯共用検討ワーキンググループ※
      - 固定業務委員会（担当：SG9 ）（主査：斉藤　利生　日本電信電話（株）電波室長）
        - 2.5GHz帯共用検討ワーキンググループ※
      - 作業計画委員会（担当：RAG）（主査：小林　哲　（社）電波産業会常務理事）

※放送業務委員会、移動業務委員会及び固定業務委員会に合同ワーキンググループとして設置